

前橋地方・ 家庭裁判所



【◎る舞う形の群馬県】

～群馬県の歴史、特色～

群馬県は、関東の西北部に位置しており、新潟、福島、長野、埼玉、栃木の各県に囲まれた内陸県です。人口は約200万人、総面積は約6362km²で、県の形が翼を広げた鶴に見えることから、上毛かるた（財団法人群馬文化協会発行）に『つる舞う形の群馬県』とうたわれています。

上毛かるたとは、昭和22年に誕生した、群馬にゆかりの歴史上の人物や名所等を詠んだ郷土のかかるたで、幼少期を群馬で過ごした人はほとんど知っているというものです。県内各地・学校で大会等が行われ、上毛かるた競技県大会という県内一を決める大会もあります。

藤原京の時代の資料によると、現在の群馬県の中に「車（くるま）郡」と呼ばれていた地域があり、奈良時代に「車郡」は「群馬（くるま）郡」に改められました。改名の理由として、この地方で多くの牧馬が飼育されていたことや、古代の人々にとって馬は権威を示す家畜として豊かさの象徴であったことが考えられます。「ぐんま」の源は「車」であり、それに豊かさの象徴である馬の字を当てて「群馬」となったものです。

ちなみに、現在の群馬県は、人口当たりの



前橋地方・家庭裁判所本庁、前橋簡易裁判所庁舎

運転免許保有率（昭和44年以降）と車両保有率（昭和48年以降）がいずれも日本一であり、県名の由来との縁を感じさせます。

群馬県の西部から北部にかけては、関東山地、三国山脈などの山地が連なっており、日本でも桜島と並ぶ最も活発な活火山の一つである浅間山を始め、赤城山、榛名山、妙義山の上毛三山、草津温泉の草津白根山など著名な山が多く存在しています。

～群馬県の観光、特産～

群馬県は全国屈指の温泉大国です。草津、^{しま}四万、伊香保、^{みなかみ}水上といった四大温泉を始め、県内には名湯と呼ばれる歴史ある温泉地からホテルや旅館がひしめく大温泉地などたくさんの温泉地があり、多くの観光客を集めています。

特産品としては、嬭恋村の高原キャベツ、下仁田町のねぎ・こんにゃく、高崎市のだるま、桐生市の桐生織などのほか、うどん、おきりこみ、焼きまんじゅうなども有名です。

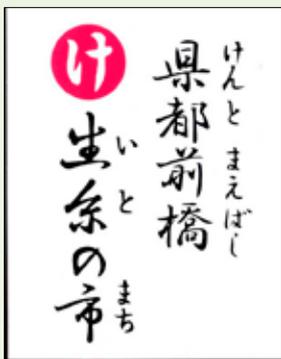


草津温泉・湯畑

【群馬県内の裁判所所在地】



群馬県内には前橋市に本庁と簡易裁判所があるほか、高崎市、桐生市、太田市及び沼田市にそれぞれ支部と簡易裁判所、富岡市、中之条町、伊勢崎市、館林市及び藤岡市に簡易裁判所（中之条は家裁出張所も含む。）があります。各都市の特色について、上毛かるたの詠み方と共に紹介します。



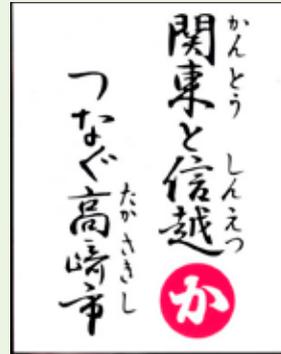
かつては前橋藩の城（前橋城）があり、前橋城跡は明治14年に県庁が置かれた後は、官庁街として利用されており、前橋地方・家庭裁判所本庁もその一角にあります。裁判所の正面に接する道路は、

「朔太郎通り」と呼ばれており、通りには萩原朔太郎賞の受賞作品の詩碑が建てら



萩原朔太郎像

れています。日本近代詩の父と称される萩原朔太郎の生家が通り沿いにあったためです。



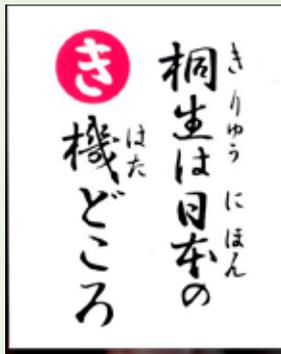
高崎市は、古くは中山道と三国街道が走る交通の要衝で、城下町、宿場町として栄えました。今では、上越・長野新幹線を始めとする

鉄道や関越自動車道などの高速道路、国道が集中しており、首都圏北部の交通の拠点となっ

ています。高崎支部の敷地には裁判所構内代書人でもあった俳人村上鬼城の句碑があります。



高崎だるま



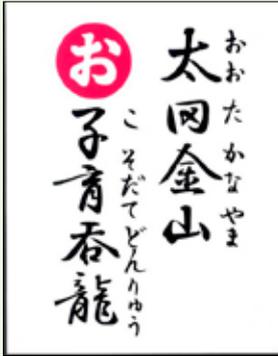
桐生市は、奈良時代から絹織物の名産地として知られており、桐生織と呼ばれる高級織物で、江戸時代から「西の西陣、東の桐生」と称されて

います。旧市街地には、天窓の明かりが入りやすくした「のこぎり屋根」の織物工場が残っ

ているほか、のこぎり屋根工場跡がレストランやカフェとして利用されています。

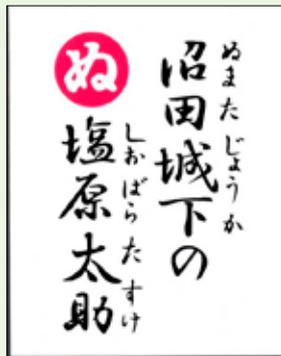


のこぎり屋根

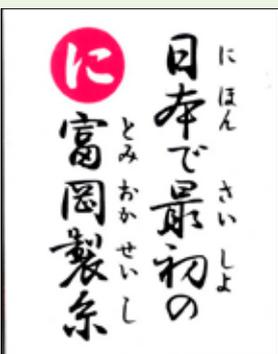


太田市内にある大光院は、徳川家康が、祖先の菩提を弔う目的で建立した寺です。呑龍和尚が生活困窮者の子供を弟子として引き取って養育したため、「子育て呑龍様」の名で親しまれ、安産・子育て祈願の参拝客が多く訪れます。また、太田市は、自動車メーカーやその関連工場が点在し、北関東有数の工業都市となっており、これらの工場働く在日外国人が多く住む、外国人集住都市としても知られています。

塩原太助は、江戸時代に沼田城下だった現在のみなかみ町に生まれ、江戸で儉約と忍耐の末、出世をとげた豪商です。沼田城跡がある沼田市では、毎年8月に沼田祇園祭(おぎょん)が行われ、数々のみこしや「まんどろ」と呼ばれる山車が出る中、女性しか担ぐことができない日本一大きいと言われる天狗みこしは有名です。



沼田祇園祭・天狗みこし



富岡市は、明治5年に明治政府が日本の近代化のため、最初に設置した官営模範器械製糸場である富岡製糸場で有名です。富岡製糸場の世界遺産登録への

取組みがされており、平成19年世界遺産暫定リストに記載されました。



富岡製糸場

【広報活動】

～裁判員制度定着のために。

Our Court を目指して～

前橋地方・家庭裁判所では、広報活動として、法廷見学、刑事裁判の傍聴又は模擬裁判の体験、裁判員制度の概要及び実施状況についての説明会、庁舎見学等を行っています。県内の小中高生や大学生、一般の団体等多くの方に来庁いただいております。

また、裁判所と、前橋地方検察庁、群馬弁護士会とが共催で、5月の憲法週間と10月の「法の日」週間に合わせてイベントを行ったり、県内の教職員の方々を対象に法教育等をテーマとした研修を行ったりしています。

裁判員制度が始まり、これまでになく市民の司法への参加が注目されています。これを機に、将来、法律家や裁判員となる小中高生や、その指導に当たられている先生方にこのような広報活動を通じて裁判員制度等の裁判所の手続を知っていただくことで、より多くの方々が司法に関心を持ち、裁判所を身近に感じていただけたらと考えています。

英国では、市民が裁判所を Our Court と呼んでいるそうです。一朝一夕には難しいかもしれませんが、将来、当裁判所も県民の皆様「私たちの裁判所」と呼んでいただけるよう、裁判や広報活動を通じ、地域に根ざした裁判所となれることを大きな目標としています。